

12月1日 インターナショナル・ファン・デイ スポーツを通じた国際交流

菊池国際交流協会(谷志和洋会長)が、市内に住む外国人と市民の交流を目的に、菊池第2さくら幼稚園で開催しました。グラウンドゴルフやビンゴゲームなどのレクリエーションを楽しんだ後、軽食で交流を深めました。



交流会には約30人が参加。最初はぎこちなかった参加者も徐々に緊張が解け、笑顔で国際交流を楽しみました

12月16日 門松づくり体験 地域の人たちと泗水東小が制作

泗水東小の6年生40人が、恒例の門松作りに挑戦しました。学校運営協議会の主催のもと、PTAや区長、地域住民などが協力。立派なミニ門松が完成しました。終了後は保護者が豚汁を提供。楽しい時間を過ごしました。



大人たちの協力のもと、苦心しながらも立派なミニ門松が完成しました

12月19日 童謡すみれと七城混声コーラス 特別養護老人ホーム清泉でコンサート

ボランティアグループの童謡すみれと七城混声コーラスが、入居者約50人に童謡や七城の歌などを披露。この活動は21年目を迎え、童謡すみれは施設で月2回の童謡クラブも実施しており、昨年は厚生労働大臣賞も受賞しました。



童謡すみれの工藤友子代表(甲佐町)は「入居者が一緒に歌ってくれて楽しい時を過ごせた。よい正月をお迎えください」と話しました

11月20日 男女共同参画推進事業者表彰 九州テイ・エス株式会社が受賞

男女共同参画の推進に積極的に取り組む県内の事業者として、本市の九州テイ・エス株式会社(原田哲也代表取締役)が県から表彰されました。今年度は県内の8事業者が受賞。同社は職場づくり部門で受賞しました。



同社はロボットの導入により女性の負担軽減や職域拡大を実現。さらにノー残業デーや労働時間削減などの取り組みが評価されました

12月13日 旭日単光章 元旭志村議の江上さんに勲章

江上廣利さん(伊萩)が旭日単光章を受章し、市役所で叙勲伝達式を開催しました。江上さんは3期12年にわたり旧旭志村の議員を務め、経済建設常任委員会副委員長や副議長などを歴任。行政の発展に尽力しました。



現在88歳の江上さん(中央)。「おかげさまで体も悪くない。ありがたい」と、散歩やグランドゴルフを行うなど元気に過ごしています

12月18日 プラチナ未来人財育成塾 代表生徒7人が報告会

未来のリーダーを育てる目的で昨年8月に都内で開催された「プラチナ未来人財育成塾@二子玉川」に参加した市の代表生徒が、生涯学習センターで報告会を実施。各界で活躍する著名人の講演を聞き成長した考えを発表しました。



越猪日香理さん(菊池北中3年・前列⑥)、森本紗佳さん(泗水中2年・前列⑥)、後列左から川口真由さん(菊池南中3年)、田中麗佳さん(菊池南中3年)、松田真優さん(七城中2年)、水野杏葉さん(旭志中3年)、仁志隆成さん(泗水中2年)



12月23日 花房保育園
わたがし、おいしくいただきます

花房保育園で、堀江清次郎さん・昭子さん夫妻が園児46人にわたがしを振る舞いました。初めて食べる子もいて、恐る恐る口にする園児も。「おいしい」「おかわり」などと言いながら、園児はうれしそうに食べていました。



堀江さん夫妻は子どもたちを笑顔にしようと、県内各地のお祭りや保育園をまわって、わたがしを振る舞っています



12月22日 宝くじ助成事業
伊萩区が公民館を建設

宝くじの社会貢献広報事業として、一般財団法人自治総合センターによるコミュニティ助成事業で旭志地域の伊萩区が公民館を建て替えました。公民館の活用による伊萩区の活性化が期待されます。



高宗義文区長(写真右)は「地域の公民館として大切にしていきたい」と話しました



12月25日 厚生労働大臣表彰
福祉への貢献で黒田章さんが受賞

社会福祉の功労者に贈られる厚生労働大臣表彰を、市身体障害者福祉協議会長の黒田章さん(深川)が受賞。黒田さんは県の身体障害者に関する組織運営に携わるほか、身体障害者相談員としても社会福祉の向上に尽力しています。



黒田さんは「誰もがお互いを大切にし、生き生きとした暮らしができる社会をつくっていきたい」と受賞の喜びを語りました



12月24日 サンタクロースからプレゼント
笑顔のメリークリスマス

サンタクロースに扮した堤照さん(栄町)が、菊池警察署や病院などを訪問し、酒まんじゅう約150個を贈呈しました。この活動は今回で20回目。市民の皆さんに喜んでもらおうと保育園や介護施設などで続けています。



菊池警察署で酒まんじゅうを配る堤さん。「メリークリスマス」と一人一人に手渡しました



12月26日 宝くじ助成事業
平区の無線放送システムが整備

一般財団法人自治総合センターによる宝くじのコミュニティ助成事業で、平区の無線放送システムが整備されました。災害時や緊急時に的確な情報伝達が可能になり、地域住民の安全確保やコミュニティの活性化が期待されます。



平区の田尻堅志区長は「地域コミュニティをより一層活性化させていきたい」と話しました



12月25日 独自ブランド「菊池の誠牛」
菊池の牛肉をアピール

泗水で肉用牛農家を営む齊藤誠さん(永)が、菊池の牛肉をPRしようと独自ブランド「菊池の誠牛」を立ち上げました。齊藤さんは昨年度の「第41回熊本県畜産共進会」でグランドチャンピオンと農林水産大臣賞を受賞しています。



齊藤さん(左)は「飼育には菊池の稲わらを使い、飼料も独自で配合。「菊池産」にこだわり良質な牛を育て全国に広めたい」と話しました

1月14日 菊池市龍門中片集落
初馬売りで豊作や家内安全を祈願

初馬売りは小・中学生の男子の男子がわらや竹で作った馬の飾り物を地域の各家庭へ配る伝統行事です。今年は村上正道さん(菊池北中学校3年)が各家庭を訪問し、飾り物と小遣いや菓子などと交換しました。



飾り物を作る中片集落の皆さん。来年以降小・中学生の男子は集落からいなくなりますが、大人たちだけで行事を継承します

1月8日 市民寄付
地域防災の一助に

宮本カヲルさん(野間口)から市へ1,000万円の寄附をいただきました。宮本さんは「これまで地域にお世話になったので恩返しをしたい。寄附金は地域防災に役立ててほしい」と話しました。寄附金は地域防災のために活用します。



宮本カヲルさん(㊟から2番目)と家族

1月21日 選挙関係功労者表彰
選挙制度130周年を記念

県庁で選挙関係功労者が表彰されました。菊池市明るい選挙推進協議会の堤慎一さん(辻)が内閣総理大臣表彰を受け元菊池市選挙管理委員会委員長の中野敷馬さん(平)には、総務大臣感謝状が贈呈されました。



堤さん㊟と中野さん㊟。内閣総理大臣表彰は全国で50人、総務大臣表彰は126人、総務大臣感謝状は471人と1団体が表彰されました

1月18日 菊池ふるさと体験協議会
台湾の高校生がホームステイ

台中市(台湾)の高校生62人が、国際交流や日本文化学習を目的とした「訪日教育旅行」で菊池市を訪れました。高校生たちは市内13軒の家庭にホームステイし、ホストファミリーによる温かい出迎えを受けました。



各ホストファミリーと高校生たちは郷土料理作り体験を通じて交流を深めました

1月24日 菊池市商工会青年部泗水支部
バザーの収益で保育園にプレゼント

商工会青年部泗水支部が、福本保育園にブロック玩具を贈呈しました。同支部による寄付は7回目。毎年しすい夏まつりや秋まつりのバザーで得た収益を泗水地区の幼稚園や保育園、学校から1か所を選んで寄付を続けています。



後藤支部長(㊟から2番目)は「子どもたちに喜んでもらえればうれしい」と話しました

1月21日 明るい選挙推進大会
小中学生が受賞

県庁で明るい選挙推進大会の表彰式が開催され、習字の部で秋好美琴さん(菊池小学校3年)が県明るい選挙推進協議会会長賞で表彰されました。また、菊野百さん(菊池南中学校3年)が優秀賞を受賞しています。



表彰式には秋好さんが参加。「一文字ずつ気持ちを込めて書きました。緊張したけど表彰されて嬉しい」と話しました

1月24日 倉敷紡績株式会社
抗菌タオルを保育所などに寄贈

倉敷紡績株式会社熊本事業所(甲森北)が、市内の保育所や幼稚園などに自社の技術を用いた抗菌・抗ウイルス加工タオルハンカチを寄贈しました。同社は地域貢献の一環として、3年前からこの取り組みを続けています。



市内の園を代表して、清泉保育園で寄贈式を実施。森永泰史副所長は「会社がある限り、寄付は続けていきたい」と話しました

1月24日 第120回熊日緑のリボン賞
城山の日実行委員会が受賞

善行を続ける人やグループを顕彰する「熊日緑のリボン賞」を城山の日実行委員会が受賞し、市役所に報告しました。同グループは毎年春と秋に、菊池公園一帯で清掃活動のイベント「城山の日」を実施。その活動が評価されました。



合志和洋委員長(立町・左から2番目)は「活動を続け、地域の歴史や文化財にスポットを当てられるような整備にも繋がりたい」と話しました

2月3日 あすなる保育園
1年の無病息災を願う

大相撲境川部屋の佐田の海関(熊本市出身)があすなる保育園で豆まきを行いました。力士がまく豆に園児たちは満面の笑顔。その後、子どもたちによるダンスの披露や力士とのハイタッチを行い、交流を深めました。



園児たちとの取り組み。佐田の海関は「子どもたちが喜んでくれてよかった。また菊池を訪問したい」と語りました

1月27日 菊池農業高校
ディスカバー農山漁村の宝で入賞

菊池農業高校グリーンライフ研究班が農水省主催「ディスカバー農山漁村の宝」において、地域活性化のための活動成果を報告。九州の地域資源を活用し、他地域への波及効果などが期待できる優良な事例として選定されました。



◎から嶋津俊太郎さん、江頭市長、福山貴士さん、田崎晶大さん。今後は取り組み活動の継続のため、起業を目指しています

2月5日 防災機能強化
道の駅「旭志」に防災拠点施設を整備

県が道の駅「旭志」に防災機能強化を目的とした防災拠点施設を整備し、竣工式を行いました。平常時には憩いや癒しの休憩施設として、非常時には市民や道路利用者の安全・安心の防災拠点施設として活用します。



◎から水上博司旭志村ふれあいセンター代表取締役、江頭市長、成富守県北広域本部長、前川収県議会議員

2月3日 叙勲
瑞宝単光章を受賞

元消防団長の坂田正邦さん(妻越)と元副団長の宮川忠正さん(甲森北)が令和元年秋の叙位・叙勲伝達式において瑞宝単光章を受賞し、報告のため市役所を訪れました。2人は消防団員として約30年間地域の防災に努めました。



受章した坂田さん◎と宮川さん◎